

- 令和3年3月、(国研)産業技術総合研究所から申請のあった車両に対し、**自動運行装置搭載車(レベル3)として認可**
- 車両に搭載された自動運行装置は、自転車歩行者専用道に設置された電磁誘導線上を走行し、**歩行者、自転車及び障害物等を検知し対応する装置**

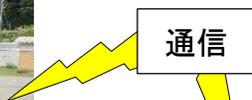
## 全国初の遠隔監視・操作型自動運転車(レベル3)の認可



1人の遠隔監視・操作者が3台の無人自動運転車両を運行



車両に福井県版図柄入りナンバープレートを装着



遠隔監視・操作室

### 走行環境条件

#### 1. 道路状況及び地理的状況

(道路区間)

- ・福井県吉田郡永平寺参ろ一ど：京福電気鉄道永平寺線の廃線跡地
- ・町道永平寺参ろ一どの南側一部区間：永平寺町荒谷～志比（門前）間の約2 km

(道路環境)

- ・電磁誘導線とRFIDによる走行経路

#### 2. 環境条件

(気象状況)

- ・周辺の歩行者等を検知できない強い雨や降雪による悪天候、濃霧、夜間等でないこと

(交通状況)

- ・緊急自動車が走路に存在しないこと

#### 3. 走行状況

(自車の速度)

- ・自車の自動運行装置による運行速度は、12 km/h以下であること

(自車の走行状況)

- ・自車が電磁誘導線上にあり、車両が検知可能な磁気が存在すること
- ・路面が凍結するなど不安定な状態でないこと

名称：**ZEN drive Pilot**

遠隔監視・操作者による常時周辺監視から解放され運転負荷を軽減

# 自動運転のレベル分け

システムによる監視

ドライバーによる監視

開発状況等

構想段階

公道実証実験

実用化済・普及段階

**政府目標**

高速道路でのレベル4の自動運転(2025年目途)※

限定地域での遠隔監視のみの自動運転移動サービス(2022年目途)※

高速道路におけるレベル3の自動運転(2020年目途)※

**レベル5**

○完全自動運転  
常にシステムが運転を実施



\*5

**レベル4**

○特定条件下における完全自動運転  
特定条件下においてシステムが運転を実施  
(作動継続が困難な場合もシステムが対応)



\*4

**特定条件下とは・・・**

場所(高速道路のみ等)、天候(晴れのみ等)、速度など自動運転が可能な条件  
この条件はシステムの性能によって異なる

**レベル3**

○特定条件下における自動運転  
特定条件下においてシステムが運転を実施  
(当該条件を外れる等、作動継続が困難な場合は、システムの介入要求等に対してドライバーが適切に対応することが必要)



ホンダ レジェンド  
(2020年11月 型式指定)

**レベル2**

○高度な運転支援 システムが前後及び左右の車両制御を実施  
【例】高速道路において、  
①車線を維持しながら前のクルマに付いて走る(LKAS+ACC)  
②遅いクルマがいればウインカー等の操作により自動で追い越す  
③高速道路の分合流を自動で行う



レクサスLS (2017年10月) ベンツSクラス (2017年8月)

**レベル1**

○運転支援 システムが前後・左右のいずれかの車両制御を実施  
【例】自動で止まる(自動ブレーキ)



\*1

前のクルマに付いて走る(ACC)



\*2

車線からはみ出さない(LKAS)



\*3

※官民ITS構想・ロードマップ2020(令和2年7月 IT総合戦略本部(本部長 内閣総理大臣)決定)にて規定

ACC: Adaptive Cruise Control, LKAS: Lane Keep Assist System

\*1 (株)SUBARUホームページ \*2 日産自動車(株)ホームページ \*3 本田技研工業(株)ホームページ  
\*4 福井県永平寺町実証実験 \*5 CNET JAPANホームページ